

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	清水小学校	小西 啓裕
学校所在地		
〒 648-0041 和歌山県橋本市清水2014番地 tel 0736(42)0307 fax 0736(32)0460		
担当者名		役職名・担当教科
笠松 英紀		教諭・体育
<p>〔学校の概要〕</p> <p>本校の校区は、橋本市の官庁街から紀ノ川を隔てて南に位置し、橋本高野橋で結ばれている。民家の大部分は、紀ノ川に沿って南側に細長く東西に街を形成し、旧高野街道の歴史的な町並みを残している。</p> <p>地域住民の多くは、大阪方面を中心にした近隣地域へ通勤している。ひらたね柿やはたごんぼの生産などの農業も盛んである。また、国の伝統的工芸品であるへらブナ釣り竿の里として全国的に名が知られている。古くから高野街道の発展とともに成長してきた校区には数多くの史跡が残され、自然に恵まれた落ち着いた学習環境である。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年6年生 14名	職員 4名	高野山
実践研究テーマ		
自ら課題を発見し、自他共に力を合わせて生きていこうとする子どもの育成		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	地域から学ぶ「高野山」	
<p>〔キーワード〕</p> <p>世界遺産学習・情報活用能力・環境教育</p>		
<p>〔単元目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産になった「高野山」を探索し、地域の歴史遺産への関心を持ち、高野山の歴史的価値について学ぶ。 ・地域の歴史的遺産を調べることで、地域の歴史的価値を見だし、地域に対する思いを深め愛着をもてるようにする。 		
<p>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕</p> <p>全体15時間（「地域にある世界遺産（高野山）について学習しよう。」 15時間）</p>		
<p>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌山県世界遺産センター ・県世界遺産マスター 		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	・世界遺産について調べる。	・世界遺産とは何か。どんな世界遺産がどこにあるかなどについてパソコンで調べ、ワークシートにまとめる。	・単元の活動について、興味を持つ事ができている。 (発言・ワークシート)
2	・修学旅行で訪れる京都の寺をパソコンで調べ、パソコンにまとめる。	・グループで担当するところを決め、パソコンにまとめる。 ・パソコン (ジャストマイル) へのまとめ方について指導する。	・担当する京都の行き先をパソコンにまとめている。 (パソコン)
3	・まとめたお寺について発表し、修学旅行のしおりをつくる。	・パソコンを使って調べたお寺を発表させ、しおりをつくる。	・興味を持って調べたお寺を発表している。 (しおり・態度)
4	・現地見学を通して、高野山について学ぶ。	・次世代育成事業に参加し、高野山についてメモをとりながら見学させる。	・大切なところはメモをとりながら聞いている。 (メモ・態度)
5	・高野山についてまとめる。	・写真やパンフレットを活用して、グループで模造紙にまとめる。	・教えてもらったことやパンフレットを参考に友達と協力して、積極的にまとめている。 (発言・態度)
6	・まとめたことを発表し、自分の感想を書く。	・グループで協力して発表する。 ・各班の発表を聞き、「世界遺産」と「高野山」について自分の感想をまとめる。	・発表したりする活動に参加している。 ・友だちの意見をきちんと聞いて、自分の感想をまとめている。 (発言・態度)
〔单元学習の成果と課題〕			
<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの和歌山県にある高野山が世界遺産に登録されていることもあり、子ども達は興味を持って DVD を見たり歴史ある高野山を見学したりすることができた。 ・世界遺産講座や世界遺産マスターから教えていただいたことやパンフレットを活用して、友達と協力して模造紙にまとめることができた。 			
〔世界遺産学習の効果〕			
<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産である「高野山」を、自分たちの足で歩いて見学した事が子ども達にとって貴重な体験であり、世界遺産を身近に感じるきっかけになった。 ・高野山という歴史的遺産を大切にしていこうという意識をもてた。 			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<ul style="list-style-type: none"> ・「世界遺産 高野山」の存在を詳しく知ることができたが、今後、どのような形で地域・学校が高野山に関わっていくのか発展的な学習につなげることが出来なかったのが反省点である。 ・校区にある黒河道を毎年恒例の国城登山の時に歩く予定であったが、実施日が雨天の翌日であったため、歩くことができなかった。校区内にある黒河道を見て歩いて、世界遺産をより身近に感じさせたかった ・世界遺産を守ってくれている地域の方々の努力やその願いにも迫りたかった。 			

様式 2

・校外学習（高野山）



世界遺産の学習で高野山に行き、世界遺産講座を受講し世界遺産ビデオを鑑賞しました。その後、世界遺産マスターの先生の説明を聞きながら、一の橋～弘法大師御廟～三本杉～一本杉のゴール付近を歩きました。

【児童の作文より】

- ・世界遺産とは世界の人々にとって、共通するかけがえのない宝物であり、未来の人々に引き継がなければならない文化財や素晴らしい自然などのことが分かりました。これからも世界の人々が大切に守り続けることが大切と思いました。
- ・高野山に行くと、高野山のお寺は文化遺産に登録されていることが分かりました。そして数々の有名な将軍や空海など多くのお墓があることも分かりました。これからも高野山の勉強をし、ぼくたち和歌山県のほこりである高野山を守っていきたいです。

・高野山についての発表会



世界遺産や高野山について調べたことを、模造紙にまとめ発表しました。

A 班	B 班	C 班
1. 熊野参詣道 2. 丹生都比売神社 3. 奥の院 4. お化粧地藏さん 5. 町石道 6. 様々なお墓 7. 高野の四季彩（清浄心院の傘桜・ろうそく祭り・蛇腹道の紅葉・冬の御影堂）	1. 世界遺産と世界遺産の種類 2. 奥之院のお墓とおじぞうさん 3. 高野山参詣道 4. まとめ	1. 世界遺産とは？ 2. 世界遺産の考え方が生まれるきっかけ 3. 世界遺産条約 4. 高野山の世界遺産 5. 黒河道 6. お墓コーナー 7. まとめ